

大麦（はるか二条）栽培情報 1月号

令和7年12月17日

J A 柳 川

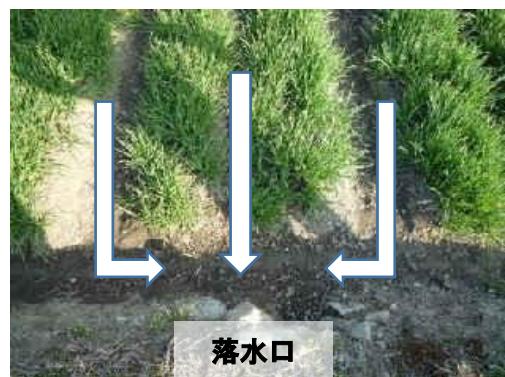
南筑後普及指導センター

1 排水対策

大麦は小麦に比べ、より湿害に弱いため、降雨後の速やかな排水が重要です。明渠（周囲溝）や枕地作溝等により、排水対策を徹底します。うね溝と落水口をつなぎ、枕地で滞水しないようにします。



枕地作溝



落水口へつなぐ

2 施肥

穂数の確保と穂の充実のため、追肥は1月下旬頃に実施します。施用時期が早くなると穂数が増え、穂の充実が悪くなります。また、遅れると倒伏や成熟期の遅れを招きます。

(kg/10a)

麦追肥一発 2号	
水稻後作	20
大豆後作	15

3 麦踏み・土入れ

●麦踏み

麦踏みは、分げつ促進や耐寒性の強化、倒伏防止等の効果があります。麦3葉期から2月中旬頃の節間伸長前までに3～5回程度実施します（生育に応じて晚期は前後します）。ほ場が湿っていると、土壤を締めつけ、生育を抑制することがあるため、土壤が十分乾燥した状態で行います。特に早播きしたほ場では、倒伏や凍霜害が発生しやすいため、麦踏みを徹底します。

●土入れ

土入れは、倒伏防止や雑草の抑制、排水対策等の効果があり、追肥後に行うと肥効が安定します。1月下旬頃から3月上旬にかけて2～3回程度実施し、大麦の生育に応じて土の量を増やします。土塊が大きくならないよう、麦踏みと同様に土壤が乾燥した状態で行います。なお、できるだけ麦踏み前に実施し、麦が土

に埋もれないようにします（麦踏み後に行う場合は生育が回復するまで待ちます）。

4 雜草防除

発生している雑草の草種に合わせた薬剤の選択が重要です。ほ場の雑草を確認し、こよみや下記を参考に薬剤を選定しましょう。また、薬害防止と除草効果安定のため、薬剤散布直前～散布後1週間以内の麦踏み・土入れは避けます。

既に、ハーモニー細粒剤Fを使用したほ場では、ハーモニーDFは使用できません。

薬剤名	適用雑草	使用時期	10a当たり 使用量	備考
ハーモニーDF	スズメノテッポウ、 一年生 広葉雑草	播種後～ 節間伸長前	5～10g (水100L)	<ul style="list-style-type: none">・使用回数：1回以内・ハーモニー細粒剤FとハーモニーDFは、いずれか1回しか使用できない・<u>タデ類</u>に効果が高い
エコパート フロアブル	一年生 広葉雑草	節間伸長開始期まで (広葉雑草：2～4葉期) (ヤエムグラ：2～6節期) (収穫45日前まで)	50～100mL (水100L)	<ul style="list-style-type: none">・使用回数：2回以内・<u>ヤエムグラ</u>に効果が高い・カラスノエンドウへの効果は劣る



〈ミチャナギ〉



〈カラスノエンドウ〉



〈キンポウゲ類(トゲミノキツネノボタン)〉

・農薬使用上の注意

- 散布前に必ず農薬ラベル（①適用作物、②使用量や希釀倍数、③使用時期や総使用回数、④有効期限）を確認！
- 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底！
- 散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を洗浄！
- 防除履歴の正確な記帳！